

平成28年度国産畜産物安心確保等支援事業
(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業)

アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針
チェックリストに関するアンケート調査結果

平成29年3月

公益社団法人畜産技術協会

目 次

I	調査の目的	1
II	調査の方法	1
III	調査の結果	2
1	管理方法	2
①	観察・記録	2
②	豚の取扱い	3
③	新生子豚の管理	4
④	個体識別	5
⑤	離乳	6
⑥	病気、事故等の措置	6
⑦	豚舎等の清掃・消毒	7
⑧	農場内における防疫措置等	7
⑨	管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進	8
2	栄 養	9
3	豚 舎	11
4	飼養方法、構造、飼養スペース	12
5	牛舎の環境	13
6	その他	15

I 調査の目的

現在、「家畜のアニマルウェルフェア（快適性に配慮した家畜の飼養管理）」に対する消費者や流通業者等の関心が高まり、畜産物の販売や取引の場でもアニマルウェルフェアが注目されています。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の「持続可能性に配慮した畜産物の調達基準」でも「快適性に配慮した家畜の飼養管理のため、畜産物の生産に当たり、アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針に照らして適切な措置が講じられていること。」と記載されており、今後、さらに注目を集めることが予想されています。

そこで、農林水産省の指導の下、農場内において、アニマルウェルフェアに適切に対応した飼養管理を実施するために取りまとめた「アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針」を皆様に知っていただくとともに、その内容がどの程度、農場内で取り組まれているかを把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

II 調査の方法

本調査は、一般社団法人日本養豚協会の協力を得て実施しました。

調査に当たっては、平成29年1月に一般社団法人日本養豚協会から、全国の豚飼養農家にアンケート調査票を送付しました。

なお、アンケートの有効回答数は、483件でした。

Ⅲ 調査の結果

1 管理方法

① 観察・記録

- ・豚の健康状態を把握するため、1日1回以上観察を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	478	2	3	483
割合	99.0%	0.4%	0.6%	100%

- ・観察の際には、病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候がないか。また、けが、尾かじり、病気等が発生していないかを確認していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	478	0	5	483
割合	99.0%	0%	1.0%	100%

- ・母豚の栄養状態等を把握するため、ボディコンディションをチェックしていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	452	19	12	483
割合	93.6%	3.9%	2.5%	100%

- ・飼養管理に関する記録を毎日つけていますか（温度、健康状態、病気・事故の発生の有無や原因、出生数・死亡数等を日誌や報告書に記録していますか）

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	420	58	5	483
割合	87.0%	12.0%	1.0%	100%

② 豚の取扱い

- ・ 日常の管理や農場内で豚を移動させる際は、豚に不要なストレスを与えたり、豚がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	473	9	1	483
割合	97.9%	1.9%	0.2%	100%

- ・ 豚舎内で作業をしたり、豚に近づいたりする際は、豚に不要なストレスを与えるような突発的な行動（急に走りだす、大声をあげる等）を起こさないようにしていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	473	8	2	483
割合	97.9%	1.7%	0.4%	100%

- ・ 豚の取扱いの際に使用する道具は、豚に不要な痛みを与えないよう、鋭い角や先の尖った道具等を使わないようにしていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	472	10	1	483
割合	97.7%	2.1%	0.2%	100%

- ・ 異なる群で飼養されていた豚を一緒にする場合、可能な限り、闘争等が起こらないように通常よりも注意して観察・管理等を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	469	9	5	483
割合	97.1%	1.9%	1.0%	100%

③ 新生子豚の管理

(1) 歯切り（実施している場合はお答え下さい）

- ・ 歯切りは、生後7日以内に実施していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	308	22	153	483
割合	63.8%	4.5%	31.7%	100%

- ・ 歯切りを行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	303	17	163	483
割合	62.7%	3.5%	33.8%	100%

- ・ 歯切り実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	292	25	166	483
割合	60.4%	5.2%	34.4%	100%

(2) 断尾（実施している場合はお答え下さい）

- ・ 断尾は、生後7日以内に実施していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	426	16	41	483
割合	88.2%	3.3%	8.5%	100%

- ・ 断尾を行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	423	16	44	483
割合	87.6%	3.3%	9.1%	100%

- ・断尾実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行いますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	416	22	45	483
割合	86.1%	4.6%	9.3%	100%

(3) 去勢（実施している場合はお答え下さい）

- ・去勢は、生後7日以内に実施していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	379	87	17	483
割合	78.5%	18.0%	3.5%	100%

- ・去勢を行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	459	7	17	483
割合	95.0%	1.5%	3.5%	100%

- ・去勢実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行いますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	454	11	18	483
割合	94.0%	2.3%	3.7%	100%

④ 個体識別（実施している場合はお答え下さい）

- ・個体識別（耳刻、耳標、入墨等）を行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	324	23	136	483
割合	67.1%	4.8%	28.1%	100%

- ・ 個体識別実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	326	18	139	483
割合	67.5%	3.7%	28.8%	100%

- ・ 耳刻を行う場合、生後7日以内に実施していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	259	79	145	483
割合	53.6%	16.4%	30.0%	100%

⑤ 離乳

- ・ 離乳は、子豚にとってストレスとなるため、離乳子豚及び母豚への影響が最小限になるよう十分に考慮して行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	463	6	14	483
割合	95.9%	1.2%	2.9%	100%

- ・ 早期離乳を行う場合、子豚の生理特性を十分に理解し、必要な技術等を習得した者が実施し、管理を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	377	44	62	483
割合	78.1%	9.1%	12.8%	100%

⑥ 病気、事故等の措置

- ・ けがや病気の豚、その兆候が見られる豚がいる場合、可能な限り丁寧に移動・分離し、迅速に治療を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	465	13	5	483
割合	96.3%	2.7%	1.0%	100%

- ・治療を行っても回復の見込みがない場合や、著しい生育不良や虚弱で回復する見込みのない場合で、安楽死を採用することとなった際には、「動物の殺処分方法に関する指針（平成7年総理府告示第40号）」に準じ、できる限り動物に苦痛を与えない方法で処置を行っています

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	374	55	54	483
割合	77.4%	11.4%	11.2%	100%

⑦ 豚舎等の清掃・消毒

- ・豚と接触する部分（豚舎、施設、設備、器具等）は、清掃や洗浄等を行い、清潔に保っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	473	7	3	483
割合	97.9%	1.5%	0.6%	100%

- ・オールイン・オールアウトを行う場合や豚房が空いた場合には、新しい群の導入前に洗浄、消毒及び乾燥等を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	445	25	13	483
割合	92.1%	5.2%	2.7%	100%

⑧ 農場内における防疫措置等

- ・家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	474	8	1	483
割合	98.1%	1.7%	0.2%	100%

- ・飼料の汚染、施設や設備の破損、病原体伝播等の原因となる有害動物（ネズミ等）や吸血動物（アブ、サシバエ等）の侵入防止や発生予防、駆除等を必要に応じて行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	463	16	4	483
割合	95.9%	3.3%	0.8%	100%

⑨ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進

- ・管理者及び飼養者は、豚の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や豚を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	474	5	4	483
割合	98.2%	1.0%	0.8%	100%

- ・日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスを受けながら、豚の基本的な行動様式や問題行動、豚の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防等に関する知識の習得に努めていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	466	14	3	483
割合	96.5%	2.9%	0.6%	100%

2 栄 養

- ・全ての豚に、毎日新鮮な飼料を必要量給与していますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	480	2	1	483
割 合	99.4%	0.4%	0.2%	100%

- ・給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	480	2	1	483
割 合	99.4%	0.4%	0.2%	100%

- ・豚の発育段階に応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	479	3	1	483
割 合	99.2%	0.6%	0.2%	100%

- ・飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	476	4	3	483
割 合	98.6%	0.8%	0.6%	100%

- ・水は、毎日新鮮で汚染されていないものを十分な量給与していますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	480	1	2	483
割 合	99.4%	0.2%	0.4%	100%

- ・ 水は、夏季の高温や冬季の凍結に注意していますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	475	6	2	483
割 合	98.4%	1.2%	0.4%	100%

- ・ 飼料や水の品質の低下を防ぐため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	470	10	3	483
割 合	97.3%	2.1%	0.6%	100%

- ・ 給餌・給水の際、過剰な闘争が起こらないように給餌器や給水器は十分な数やスペースが確保されていますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	467	12	4	483
割 合	96.7%	2.5%	0.8%	100%

3 豚 舎

- ・豚舎や豚房等の破損があった場合、それが原因で豚がけがをしないように対応していますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	474	6	3	483
割 合	98.2%	1.2%	0.6%	100%

- ・管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	450	25	8	483
割 合	93.2%	5.2%	1.6%	100%

- ・豚舎は、適切な排泄物処理ができる構造になっていますか

	は い	いいえ	無回答	合 計
件 数	467	10	6	483
割 合	96.7%	2.1%	1.2%	100%

4 飼養方式、構造、飼養スペース

- ・管理者及び飼養者は、飼養方式（単飼、群飼等）の特徴や設備等の使用方法等を理解していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	471	7	5	483
割合	97.5%	1.5%	1.0%	100%

- ・床は、スリップ等でけがが発生しないように滑りにくい構造になっていますか。また、けがの原因となるような突起物がない状態になっていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	456	24	3	483
割合	94.4%	5.0%	0.6%	100%

- ・スノコのスリット幅は、爪等が挟まりにくいように豚の月齢等に合ったものになっていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	450	12	21	483
割合	93.2%	2.5%	4.3%	100%

- ・分娩豚や泌乳中の母豚を飼育する施設は、支障なく飼料や水が摂取でき、子豚の圧死の防止や、子豚が自由に母乳を飲める構造になっていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	467	3	13	483
割合	96.7%	0.6%	2.7%	100%

- ・豚の行動等をよく観察したうえで、飼養スペースが適当であるかを判断していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	460	17	6	483
割合	95.3%	3.5%	1.2%	100%

5 豚舎の環境

- ・気象や環境の変化によって豚舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	470	10	3	483
割合	97.3%	2.1%	0.6%	100%

- ・豚の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策（クーリングパッド、細霧システム等）や寒冷対策を行い、適温を維持していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	451	28	4	483
割合	93.4%	5.8%	0.8%	100%

- ・新生子豚のために十分な保温対策を行っていますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	465	4	13	483
割合	96.5%	0.8%	2.7%	100%

- ・豚舎内の換気を適切に行い、常に新鮮な空気を供給していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	464	15	4	483
割合	96.1%	3.1%	0.8%	100%

- ・アンモニア濃度が 25ppm（臭気を感じる状態を乗り越えて、不快を感じる状態）を超えないように注意していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	454	23	6	483
割合	94.0%	4.8%	1.2%	100%

- ・豚が飼料及び水の摂取等の行動や、飼養者及び管理者が日常作業を支障なく行えるように適切な照明設備等を設置していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	457	20	6	483
割合	94.6%	4.2%	1.2%	100%

- ・豚舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突然の騒音を避けるように注意していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	463	15	5	483
割合	95.9%	3.1%	1.0%	100%

6 その他

- ・自動化された設備（自動給餌器、空調システム等）がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	426	29	28	483
割合	88.2%	6.0%	5.8%	100%

- ・農場における火災や浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するため、危機管理マニュアル等（連絡網等）を作成していますか

	はい	いいえ	無回答	合計
件数	298	167	18	483
割合	61.7%	34.6%	3.7%	100%